

人間の安全保障特別報告書グローバル・ローンチ
林芳正外務大臣ビデオメッセージ(仮訳)

シュタイナーUNDP 総裁、
ご参加の皆様、

今般、国連開発計画（UNDP）の特別報告書「人新世における人間の安全保障に対する新たな脅威」のグローバル・ローンチが開催されることを心よりお祝い申し上げます。

発生から2年が経過した今現在も世界各国で猛威を振り続けている新型コロナウイルス感染症は、人々の命・生活・尊厳を脅かしており、正に人間の安全保障に対する危機です。

長年に亘って人間の安全保障を外交の柱として提唱してきた我が国としては、今こそ、新型コロナウイルス感染症や気候変動など、現代の進化する脅威に対応する人間の安全保障について議論を深めていくことが重要と考えており、UNDP による今回の特別報告書作成に向けた議論発足当初から支持してきました。今般、新たな戦略と具体的なアクションを求める重要かつ啓蒙的で時宜を得た報告書を完成させたUNDP 人間開発報告書室の努力に心からの敬意を表します。加えて、有益かつ洞察に満ちた助言を行ったハイレベル諮問パネルの貢献に感謝します。

特別報告書では、従来の人間の安全保障の2つの柱である「保護」と「能力強化」に加えて、「連帯」の重要性を提唱しています。人新世においては、気候変動や感染症をはじめとする地球規模の課題は国境を越えることから、一国のみで対応することは不可能であり、各国が連帯の精神を以て協調して対処することが不可欠です。

保護・能力強化・連帯の3つの柱の中心に、個人の主体性を据えて、信頼の精神の下、これら3つの柱を推進していくという新たな人間の安全保障の政策枠組みの提言は、国際社会が国境を越える課題に対処するためには、自国の利益優先ではなく、他国との協調によって初めて可能となるという点を強調しており、かかる「人類の眼」による人間の安全保障アプローチが、新型コロナウイルス感染症など重大な局面を迎えている地球上において、これまでになく求められていることを我々に明確に再認識させるものです。

我が国としては、今回の特別報告書の提言を踏まえて、人間の安全保障の一層の普及をはかるとともに、国連人間の安全保障基金を活用して、その実施を推進していきます。また、人間の安全保障フレンズと連携しつつ、本年開催予定のT I C A D 8の機会も含め、国連及び国際場裏における人間の安全保障に関する議論に貢献していく所存です。

ご清聴ありがとうございました。

(了)